CLUSTERPRO X 3.3 for Linux

SECUREMASTER/EnterpriseIdentityManager

セットアップ手順書

日本電気株式会社

Creation Date:	2016/08/26
Last Update:	2016/09/15
Version:	1

NEC

Copyright ©2017 NEC Corporation

このドキュメントは予告なく変更される場合があり、日本電気株式会社はその内容に対して責任を負うものではありません。また、このドキュメント内に誤りがあった場合、日本電気株式会社は一切の責任を負いません。

このドキュメントの一部または全部を複製することは禁じられており、提供または製造を目的として使用することはできません。

ただし、日本電気株式会社との契約または同意文書で定められている場合に限り、この注記の添付を条件として複製することができます。NEC Corporation または日本電気株式会社から事前に書面による合意を得ない限り、このドキュメントまたはその一部から直接的または間接的に知り得た内容または主題に関して、個々の企業やその従業員などの第三者に対し、口頭、文書、またはその他のいかなる手段によっても伝達することはできません。

SECUREMASTER/EnterpriseIdentityManager及びEnterpriseDirectoryServerは日本電気株式会社の商標です。

CLUSTERPRO®は日本電気株式会社の登録商標です。

本書で使用されているその他の商標は、それぞれの所有権者に帰属します。

Copyright © 2017 NEC Corporation
All Rights Reserved.

Document Control

Publicity

□社内限り／□パートナー公開可／■公開可

Author

NEC スマートネットワーク事業部

Owner

NEC スマートネットワーク事業部

Reviewers

Name / Title

_____ / _____

Approvals

Name / Title

_____ / _____

Copyright ©2017 NEC Corporation

Document History

Version	Details	Status	Date	Author
1	新規作成		2016/09/15	スマート NW 事

Copyright ©2017 NEC Corporation

目次

1 はじめに 1
1.1 機能概要 1
2 動作環境 3
2.1 必要なソフトウェア 3
2.2 必要なハードウェア 3
3 設定方法 4
3.1 インストール 4
3.2 EIM リポジトリ（EDS）のセットアップ 5
3.3 EIMのセットアップ 6
3.4 CLUSTERPRO のセットアップ 8
4 スクリプトテンプレート 22
4.1 共通 22
4.2 コネクタ、監査リポジトリ、レプリケーション、スケジューリングを利用しない場合 24
4.3 コネクタを利用する場合 28
4.4 監査リポジトリを利用する場合 32
4.5 レプリケーションを利用する場合 36
4.6 スケジューリングを利用する場合（監査リポジトリ含む） 41
5 留意事項 48

Copyright ©2017 NEC Corporation

1　はじめに

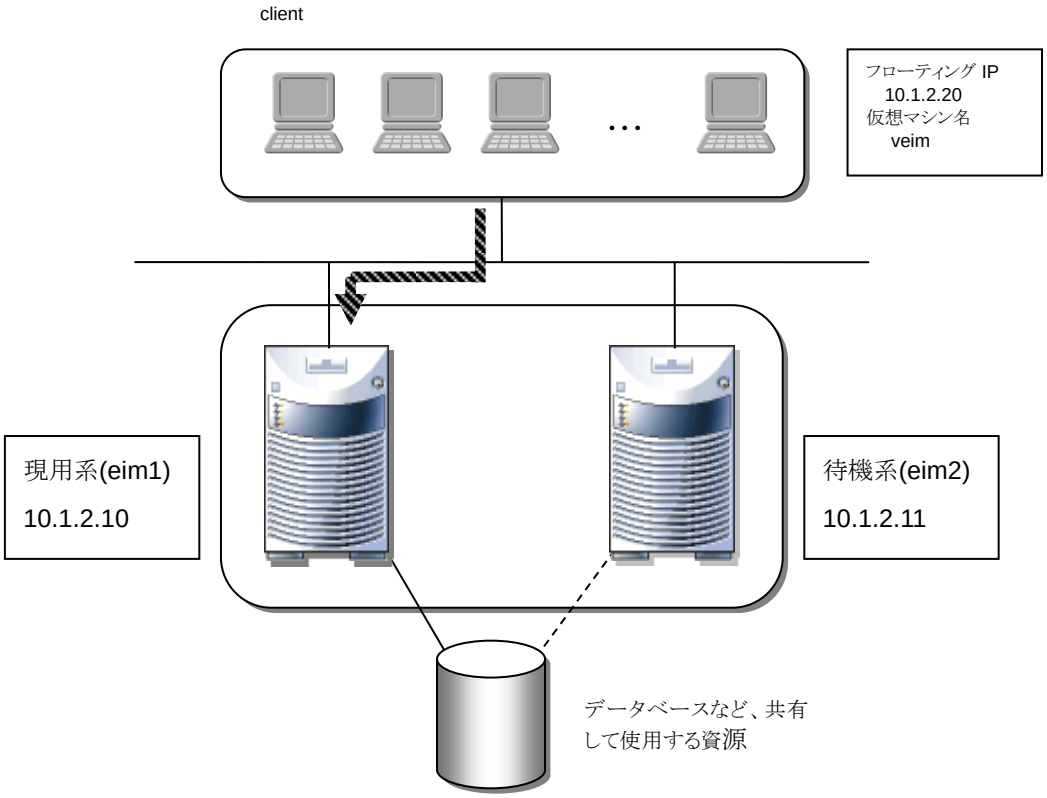
本ドキュメントでは、クラスタソフトウェア「CLUSTERPRO」を利用して、「SECUREMASTER/EnterpriseIdentityManager(以下 EIM)」を使ったクラスタシステム構築のためのセットアップ手順について解説します。EIM をクラスタ構成とすることで、信頼性、可用性の向上に繋がります。なお、本手順書は「CLUSTERPRO X3.3 for Linux」の利用を想定して書かれておりますが、CLUSTERPRO の他のバージョンについても、ほぼ同様の操作で利用することが可能です。

1.1　機能概要

EIM ではデータベース、ログ、設定ファイルを切替パーティションに配置することで、現用系に障害が発生した場合は待機系で運用を続けることが可能となります。

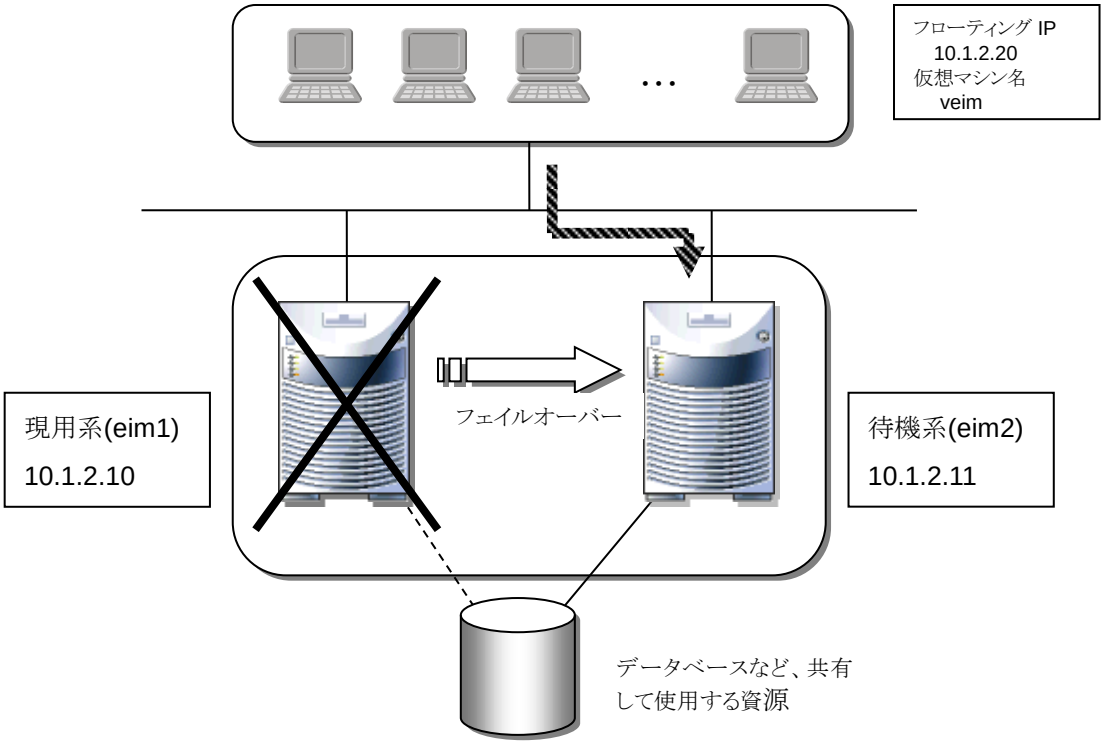
EIM の運用形態は片方向スタンバイ型のみをサポートしています。

片方向スタンバイ型では、通常は現用系で業務を行い、現用系に障害が発生した場合は待機系に切り替わり、業務を継続します。仮想IPアドレス(フローティングIPアドレス)と仮想マシン名によって、クライアントはサーバのクラスタ構成を意識することなく EIM を利用することができます。



Copyright ©2017 NEC Corporation

現用系に障害が発生した場合、以下のように待機系に切り替わって業務を継続します。



フェイルオーバが完了すると待機系で EIM が起動し、データベース等の現用系と共有して使用する資源を引き継ぎます。クライアントでは仮想 IP アドレス(フローティング IP アドレス)と仮想マシン名を使用して EIM にアクセスしているため、サーバが切り替わってもクライアント側の設定を変更する必要はなく、サーバが切り替わる前と変わらず EIM を利用することが可能です。

Copyright ©2017 NEC Corporation

2　動作環境

2.1　必要なソフトウェア

- SECUREMASTER/EnterpriseIdentityManager Ver8.1（Linux 版）
- CLUSTERPRO X3.3 for Linux
- CLUSTERPRO X Internet Server Agent for Linux

※EIM では Tomcat による Web アプリケーションを用いています。HTTP 監視を行う場合、CLUSTERPRO X　Internet Server Agent for Linux のライセンスが必要です。

2.2　必要なハードウェア

EIM サーバインストール用マシン

- メモリ:　3GB 以上推奨
- HD:　50GB 以上

CLUSTERPRO の動作に必要なハードウェアは「CLUSTERPRO X3.3 for Linux スタートアップガイド」を参照してください。

Copyright ©2017 NEC Corporation

3　設定方法

ここでは CLUSTERPRO と EIM のインストール、及び設定手順について解説します。
以下の順にセットアップを進めていきます。

① CLUSTERPRO のインストール
② EIM のインストール
③ EIM リポジトリ（EDS）のセットアップ
④ EIM のセットアップ
⑤ CLUSTERPRO のセットアップ

3.1　インストール

3.1.1　CLUSTERPRO のインストール

EIM をインストールする前に、CLUSTERPRO インストールを行います。インストール方法、設定方法は「CLUSTERPRO X3.3 for Linux インストール&設定ガイド」のマニュアルを参照してください。

【注意】
この時点では、まだスクリプト等の設定は行いません。

3.1.2　EIM のインストール

現用系マシンと待機系マシンに EIM をインストールします。インストール方法の詳細は EIM 本体のセットアップカードを参照してください。

3.1.3　監査用リポジトリのインストール

この設定は EIM 監査オプションの連携先アカウント確認機能を利用する場合のみ実施します。
現用系マシンと待機系マシンに監査用リポジトリをインストールします。通常の監査リポジトリのインストールと異なる部分のみ記載します。インストール方法の詳細は EIM のセットアップカードを参照してください。

1) 現用系マシンで multisrv コマンドを実行します。
2) [input databse path:]と表示されるので、切替パーティションのパスを指定します。
   例） /mnt/sda2/eds/AUDITDB
3) [IP Address:]と表示されたら、フローティング IP を指定します。

Copyright ©2017 NEC Corporation

4) [input manager server port:]と表示されたら、特に理由がなければ「11107」と入力します。別の値を設定する場合は監視スクリプト（EDS_WATCH）の内容も変更する必要があります。
5) 監査リポジトリのインストールの完了後、待機系マシンにフェイルオーバします。
6) 現用系マシンで作成した DB を退避します。
   例） /mnt/sda2/eds/AUDITDB → /mnt/sda2/eds/AUDITDB_sv
7) 現用系マシンと同様に 2～6 の手順で監査リポジトリをインストールします。
8) 再び現用系マシンにフェイルオーバ（フェイルバック）し、6 で退避した DB を戻します。
   例） /mnt/sda2/eds/AUDITDB_sv → /mnt/sda2/eds/AUDITDB

3.2 EIM リポジトリ（EDS）のセットアップ

EIM リポジトリである EDS のデータベースファイル、ログファイル、環境設定ファイルの場所を共有・ミラーディスクへ変更を行います。作業は現用系マシンと待機系マシンの両方で実施します。

準備として EDS の各ファイル出力用のディレクトリを作成して下さい。
（以下では/mnt/sda2 に共有・ミラーディスクをマウントし、/mnt/sda2/eds を作成したと仮定して説明します。ログファイル等の出力先を変更した場合は、適宜読み替えてください。）

3.2.1 データベースファイルの設定

データベースファイルの場所を共有・ミラーディスク上のパーティションに変更します。

- 現用系マシン

```
> mv /opt/nec/eds/edsdb /mnt/sda2/eds/edsdb
> ln –s /mnt/sda2/eds/edsdb /opt/nec/eds/edsdb
```

- 待機系マシン

```
> rm –rf /opt/nec/eds/edsdb
> ln –s /mnt/sda2/eds/edsdb /opt/nec/eds/edsdb
```

3.2.2 データベースの環境設定ファイルの設定

データベースの環境設定ファイルの場所を共有・ミラーディスク上のパーティションに変更します。

- 現用系マシン

```
> mv /opt/nec/eds/env /mnt/sda2/eds/env
> ln –s /mnt/sda2/eds/env /opt/nec/eds/env
```

- 待機系マシン

```
> rm –rf /opt/nec/eds/env
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

> ln –s /mnt/sda2/eds/env /opt/nec/eds/env

3.2.3 EDS 環境設定ファイルの設定

EDS の環境設定ファイルの場所を共有・ミラーディスク上のパーティションに変更します。

□ 現用系マシン

> mv /etc/opt/nec/eds /mnt/sda2/eds/conf

> ln –s /mnt/sda2/eds/conf /etc/opt/nec/eds

□ 待機系マシン

> rm –rf /etc/opt/nec/eds

> ln –s /mnt/sda2/eds/conf /etc/opt/nec/eds

【注意】

SSL 通信を利用する場合、サーバ証明書を導入する前に、EDS 用の環境変数「EDS_FOR_CLUSTER」を設定してください。/etc/opt/nec/eds/edsenv.conf を編集し、以下の一行を追加してください。

```
EDS_FOR_CLUSTER = ON
```

3.2.4 EDS ログファイルの設定

EDS が出力する各種ログファイルの出力先を共有・ミラーディスク上のパーティションに変更します。

□ 現用系マシン

> mv /opt/nec/eds/log /mnt/sda2/eds/log

> ln –s /mnt/sda2/eds/log /opt/nec/eds/log

□ 待機系マシン

> rm –rf /opt/nec/eds/log

> ln –s /mnt/sda2/eds/log /opt/nec/eds/log

3.2.5 EDS 監視コマンドのコピー

現用系マシンと待機系マシンの/opt/nec/eds/bin へ監視コマンド EDS_WATCH を作成し、実行権限を付与します。EDS_WATCH については「4. スクリプトテンプレート」を参照してください。

3.3 EIMのセットアップ

EIM が利用するデータファイル、ログファイル、環境設定ファイルの場所を共有・ミラーディスクへ

Copyright ©2017 NEC Corporation

変更を行います。作業は現用系マシンと待機系マシンの両方で実施します。

準備として EIM の各ファイル出力用のディレクトリを作成して下さい。
（以下では/mnt/sda2 に共有・ミラーディスクをマウントし、/mnt/sda2/eidm を作成したと仮定して説明します）

3.3.1 EIM データファイルの設定

EIM のデータファイルの場所を共有・ミラーディスク上のパーティションに変更します。

- 現用系マシン

```
> mv /opt/nec/eidm/data /mnt/sda2/eidm/data
> ln –s /mnt/sda2/eidm/data /opt/nec/eidm/data
```

- 待機系マシン

```
> rm –rf /opt/nec/eidm/data
> ln –s /mnt/sda2/eidm/data /opt/nec/eidm/data
```

3.3.2 EIM 環境設定ファイルの設定

EIM の環境設定ファイルの場所を共有・ミラーディスク上のパーティションに変更します。

- 現用系マシン

```
> mv /etc/opt/nec/eidm /mnt/sda2/eidm/env
> ln –s /mnt/sda2/eidm/env /etc/opt/nec/eidm
```

- 待機系マシン

```
> rm –rf /etc/opt/nec/eidm
> ln –s /mnt/sda2/eidm/env /etc/opt/nec/eidm
```

上記に加えて、/etc/opt/nec/eidm/eidmcommon.conf、/etc/opt/nec/eidm/eidmplugin.conf 内に記述されているファイル・フォルダも共有・ミラーディスク上のパーティションに配置されるように変更します。

3.3.3 EIM ログファイルの設定

EIM が出力する各種ログファイルの出力先を、共有・ミラーディスク上のパーティションに変更します。

- 現用系マシン

```
> mv /opt/nec/eidm/log /mnt/sda2/eidm/log
> ln –s /mnt/sda2/eidm/log /opt/nec/eidm/log
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

□　待機系マシン

> rm –rf /opt/nec/eidm/log

> ln –s /mnt/sda2/eidm/log /opt/nec/eidm/log

3.3.4　EIM 配信ファイルの設定

EIM のコネクタが出力する配信ファイルの出力先を、共有・ミラーディスク上のパーティションに変更します。

EIM 管理ツールから、コネクタ情報を編集し、出力ファイル名を変更します（設定の変更には EDS の再起動が必要です）。

3.4　CLUSTERPRO のセットアップ

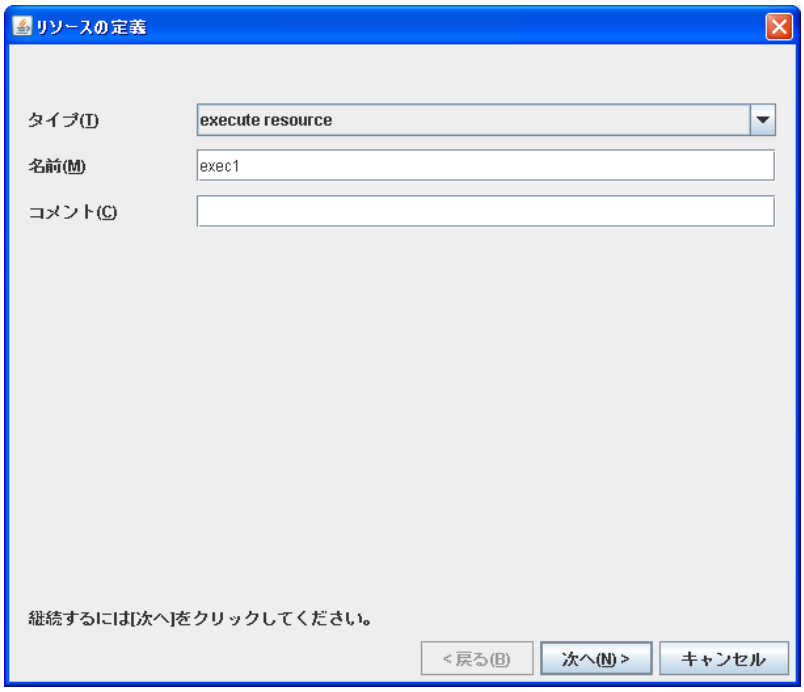
EIM 起動・停止スクリプトの登録や監視スクリプトの登録、モニタリソースの登録などの CLUSTERPRO への設定を行います。設定方法等の詳細については CLUSTERPRO のマニュアルを参照してください。

特に記載のない箇所については環境に合わせて設定してください。

3.4.1　EIM 起動・停止の EXEC リソースの追加

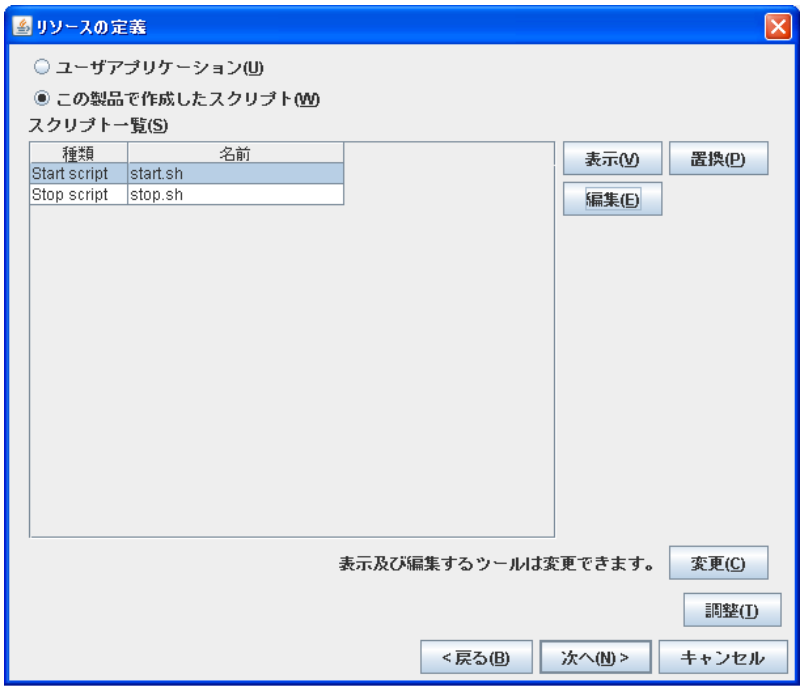
EIM の起動、停止用のリソースを追加します。

フェイルオーバグループで、「リソースの追加」を選択します。リソースタイプとして、「execute resource」を選択します。



Copyright ©2017 NEC Corporation

スクリプト一覧から「Start script」および「Stop script」を選択し、「置換」ボタンをクリックして、start.sh と stop.sh のそれぞれを、EIM 起動・停止のスクリプトテンプレート（start.sh、stop.sh）に置換します。EIM 起動・停止のスクリプトについては「4. スクリプトテンプレート」を参照してください。



「調整」ボタンをクリックし、開始スクリプト、終了スクリプトとも「同期」になっていることを確認します(既定値は、同期)。

Copyright ©2017 NEC Corporation

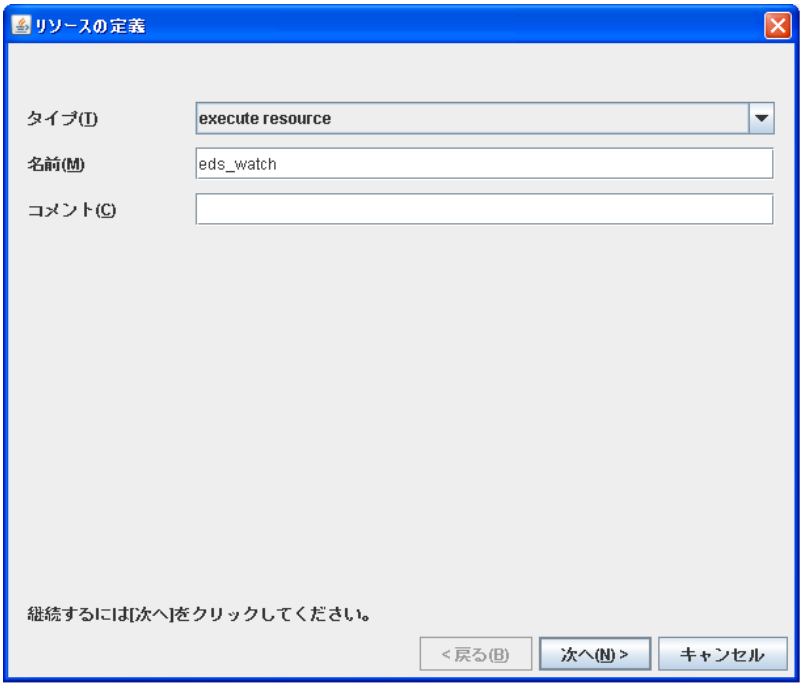
「完了」ボタンをクリックして、EIM 起動・停止の EXEC リソースを作成します。

3.4.2　EDS 監視コマンドの EXEC リソースの追加

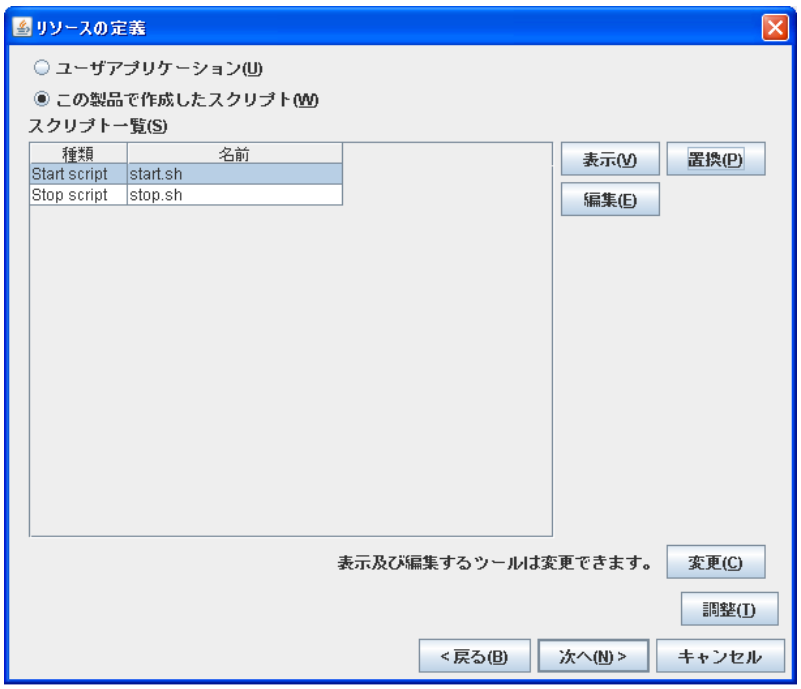
EDS の監視コマンド用のリソースを追加します。

フェイルオーバグループで、「リソースの追加」を選択します。リソースタイプとして、「execute resource」を選択します。

Copyright ©2017 NEC Corporation

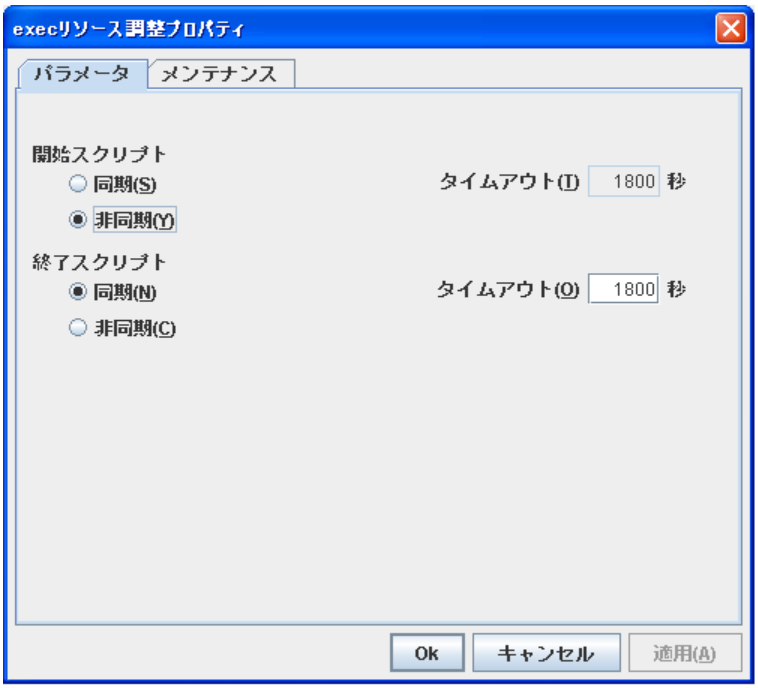


スクリプト一覧から「Start script」および「Stop script」を選択し、「置換」ボタンをクリックして、start.sh と stop.sh のそれぞれを、EDS 監視用のスクリプトテンプレート(EDS_WATCH_start.sh、EDS_WATCH_stop.sh)に置換します。EDS 監視用のスクリプトについては「4. スクリプトテンプレート」を参照してください。



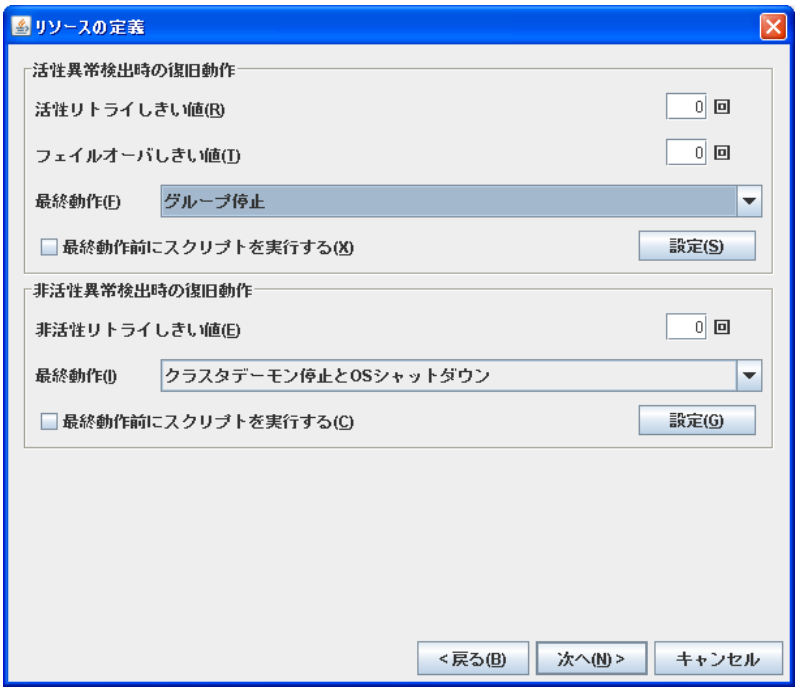
Copyright ©2017 NEC Corporation

「調整」ボタンをクリックして、開始スクリプトで「非同期」を選択します。

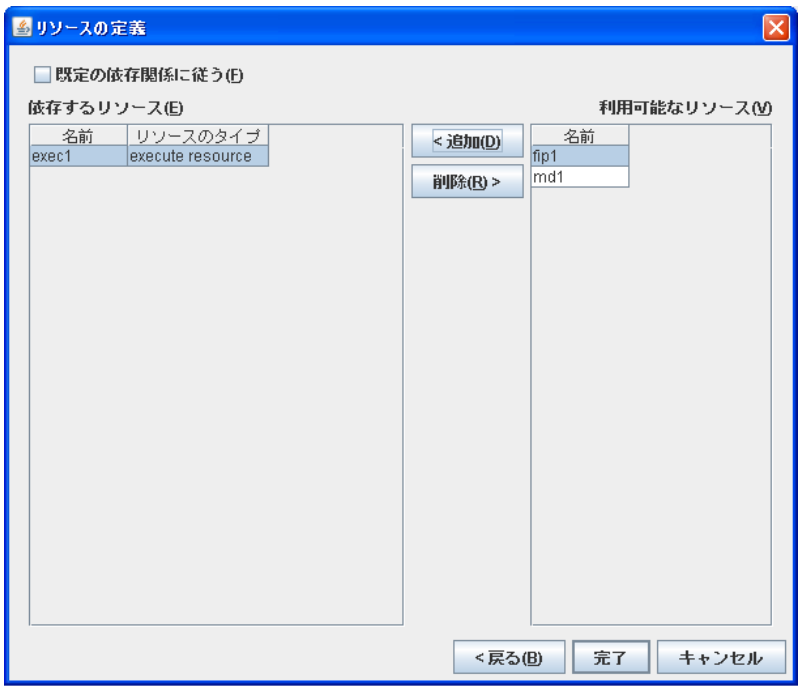


Copyright ©2017 NEC Corporation

活性異常検出時の復旧動作の「フェイルオーバしきい値」を「0」に、「最終動作」を「グループ停止」にします。



「既定の依存関係に従う」のチェックをはずし、依存するリソースに EIM 起動・停止の EXEC リソースを追加します。



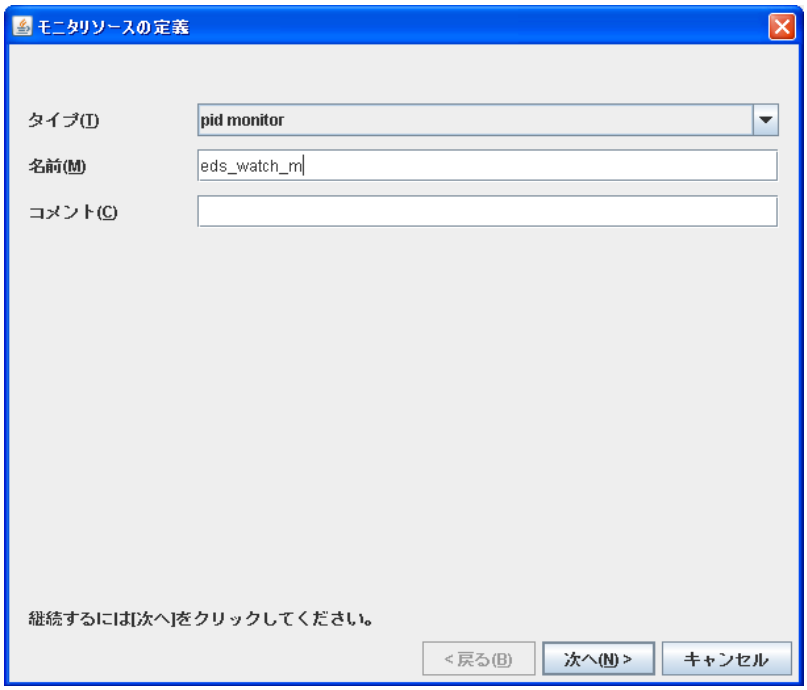
Copyright ©2017 NEC Corporation

「完了」ボタンをクリックして、監視コマンド用の EXEC リソースを作成します。

3.4.3　EDS 監視コマンド用モニタリソースの追加

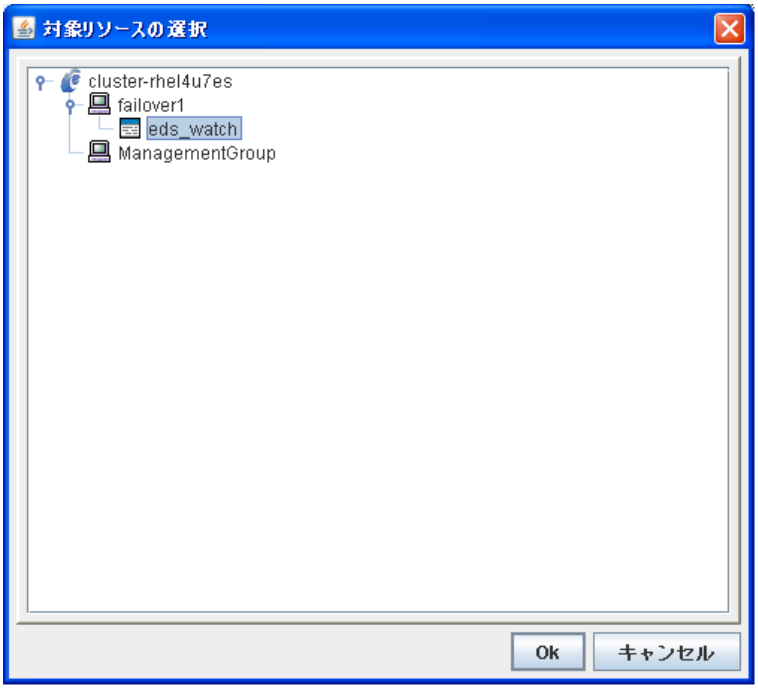
EDS 監視コマンド用 EXEC のモニタリソースを追加します。

Monitor で「モニタリソースの追加」を選択します。監視タイプとして、「pid monitor」を選択します。

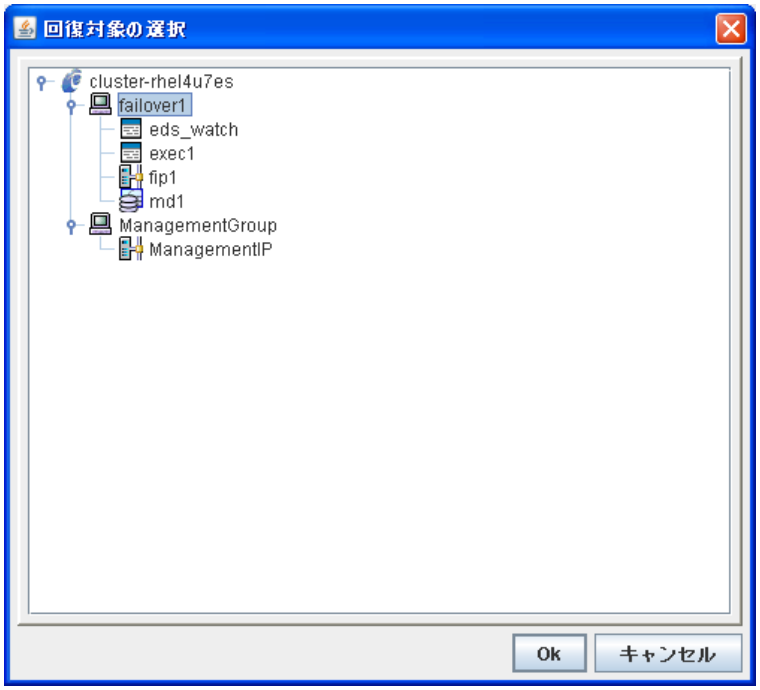


対象リソースとして、EDS 監視コマンドの EXEC リソースを選択します。

Copyright ©2017 NEC Corporation



回復対象に EIM のフェイルオーバグループを選択します。



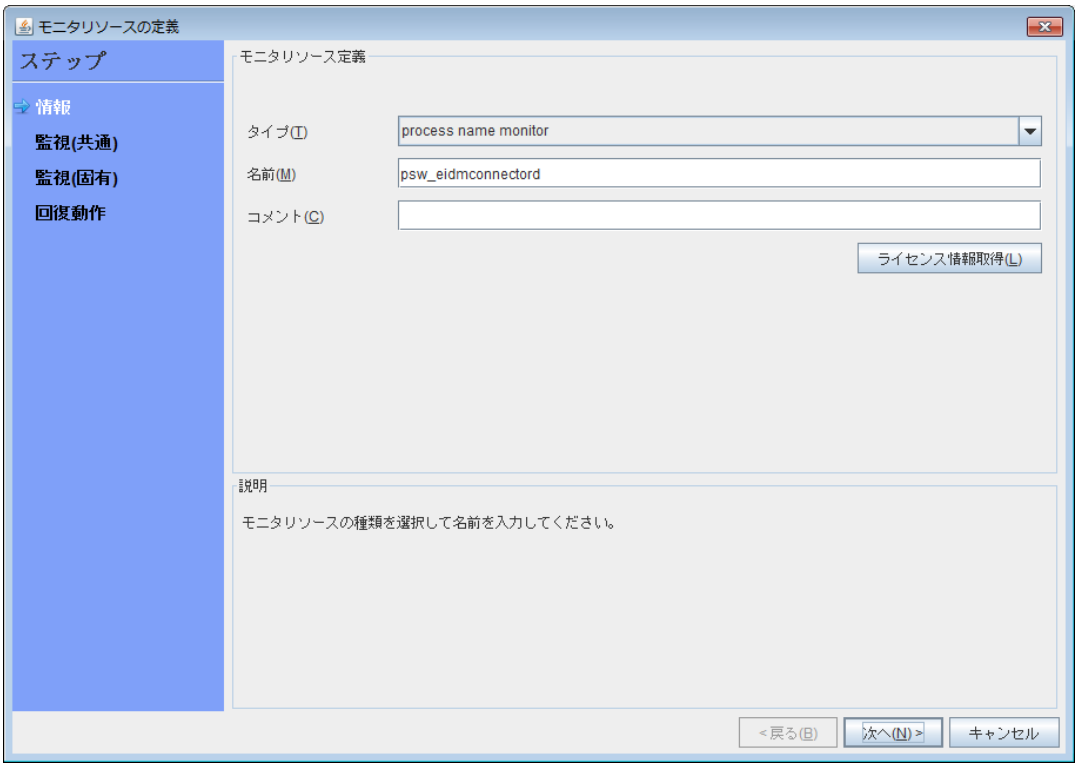
設定が終了したら、「完了」ボタンをクリックして、モニタリソースを作成します。

Copyright ©2017 NEC Corporation

3.4.4　EIDMCONNECTORD 用モニタリソースの追加

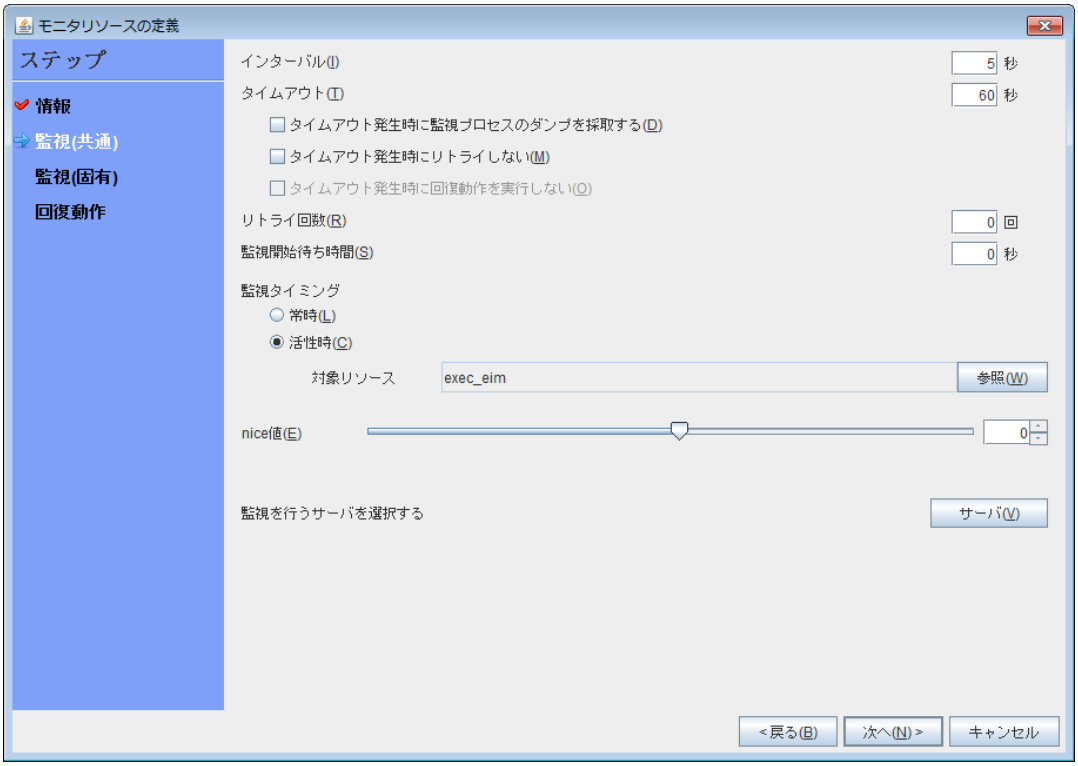
EIDMCONNECTORD のモニタリソースを追加します。コネクタを利用しない場合、本項は設定不要です。

Monitor で「モニタリソースの追加」を選択します。監視タイプとして、「process name monitor」を選択します。

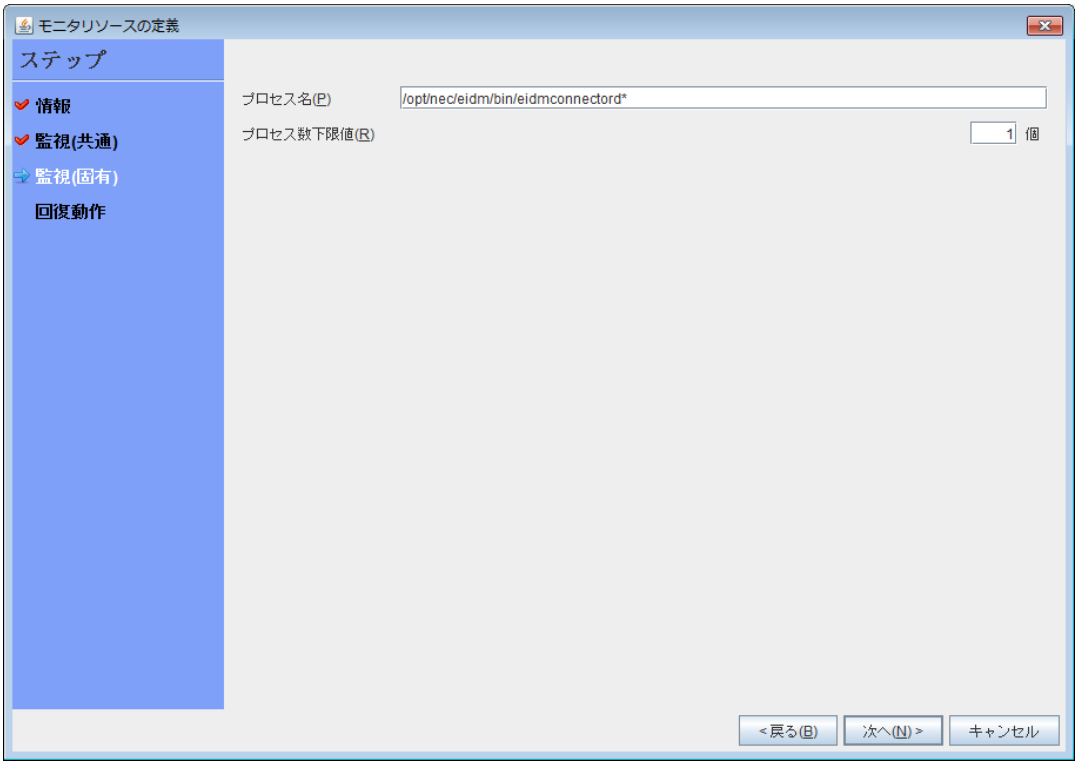


対象リソースとして、EIM 起動・停止の EXEC リソースを選択します。

Copyright ©2017 NEC Corporation

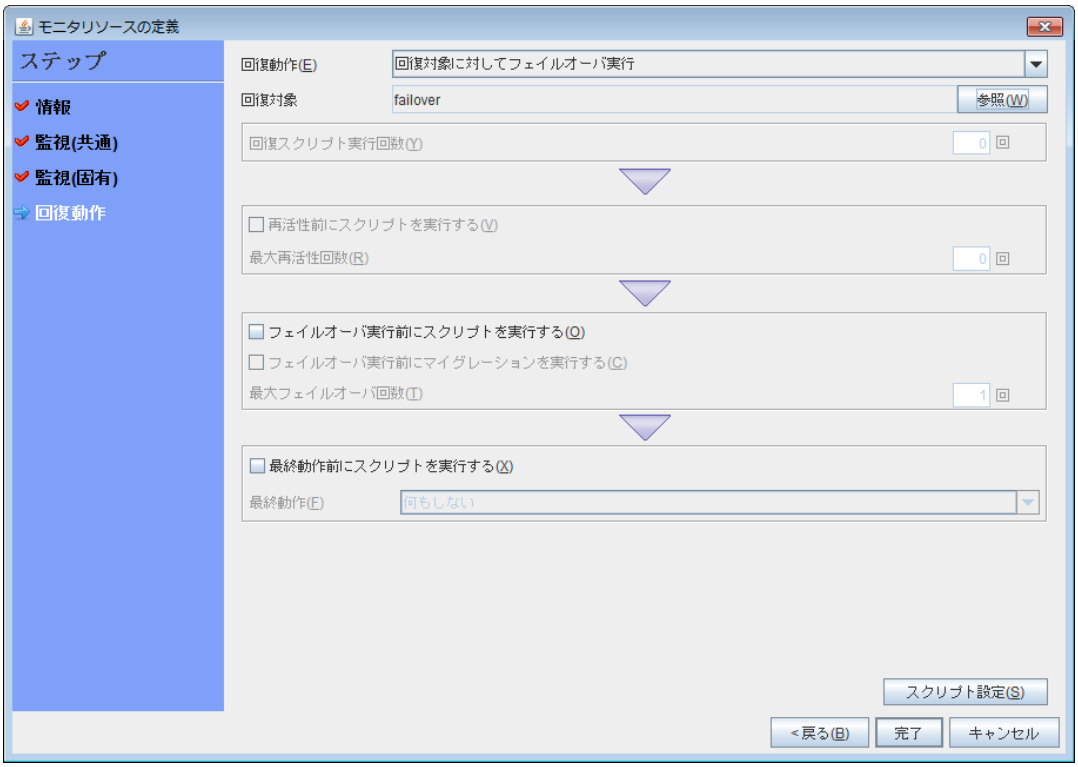


プロセス名に「/opt/nec/eidm/bin/eidmconnectord*」を指定します。



回復対象に EIM のフェイルオーバグループを選択します。

Copyright ©2017 NEC Corporation



設定が終了したら、「完了」ボタンをクリックして、モニタリソースを作成します。

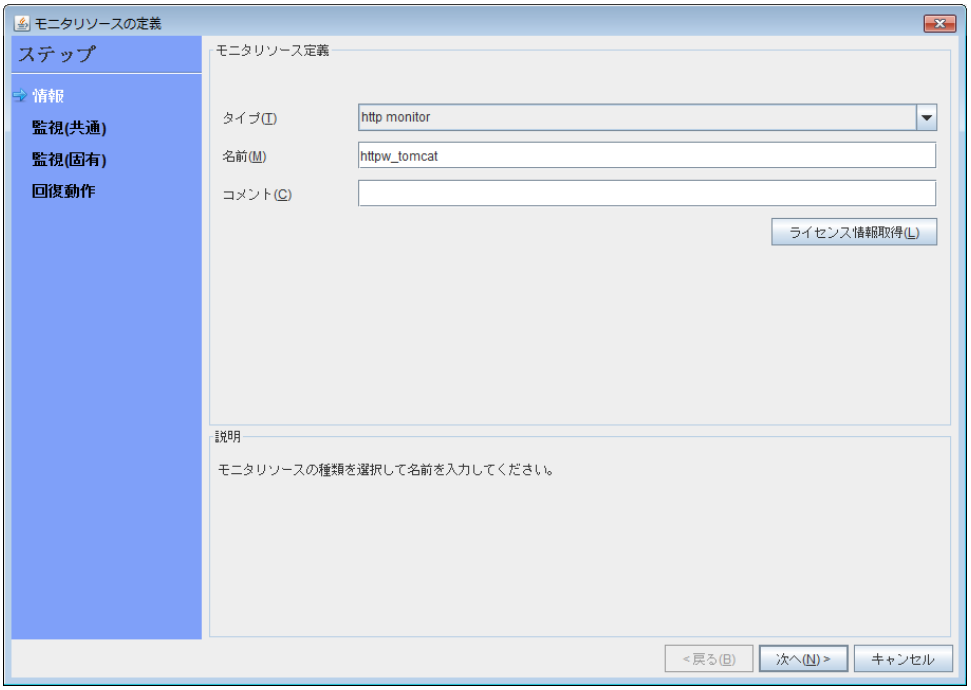
3.4.5　HTTP 監視用モニタリソースの追加

EIM の Web アプリケーション監視用のモニタリソースを追加します。

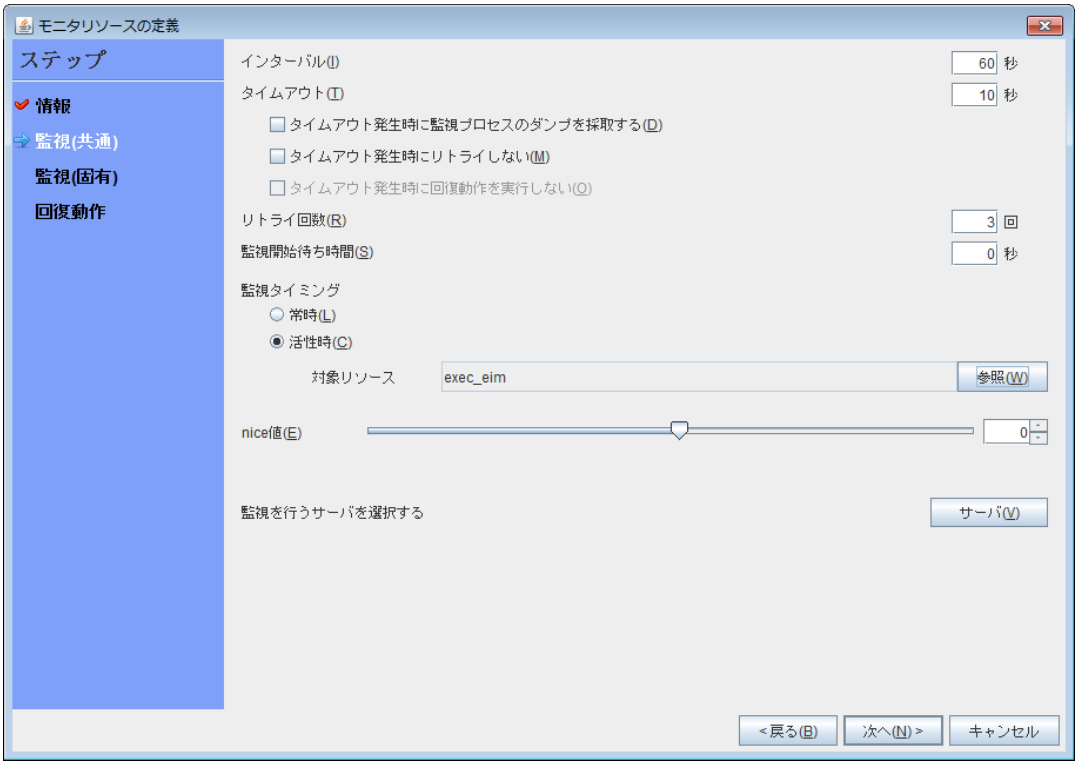
Monitor で「モニタリソースの追加」を選択します。監視タイプとして、「http monitor」を選択します。

※監視レベルは低下しますが、HTTP 監視用モニタの代わりにプロセス監視用モニタを設定することも可能です。プロセス監視を行う場合、プロセス名に「*/opt/nec/eidm/webap*」を指定します。

Copyright ©2017 NEC Corporation



監視タイミングで「活性時」を選択し、「対象リソース」に EIM 起動・停止 EXEC リソースを選択します。



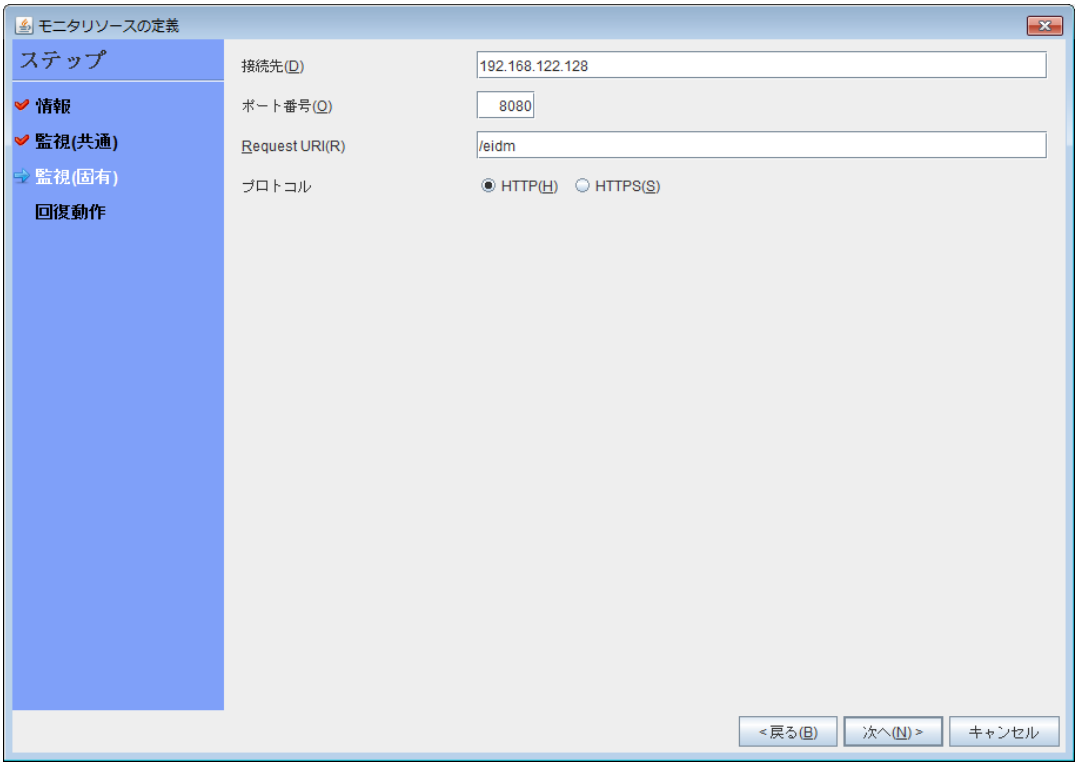
監視対象の接続先、ポート番号、Request URL を指定します。

Copyright ©2017 NEC Corporation

接続先:仮想マシンのフローティング IP

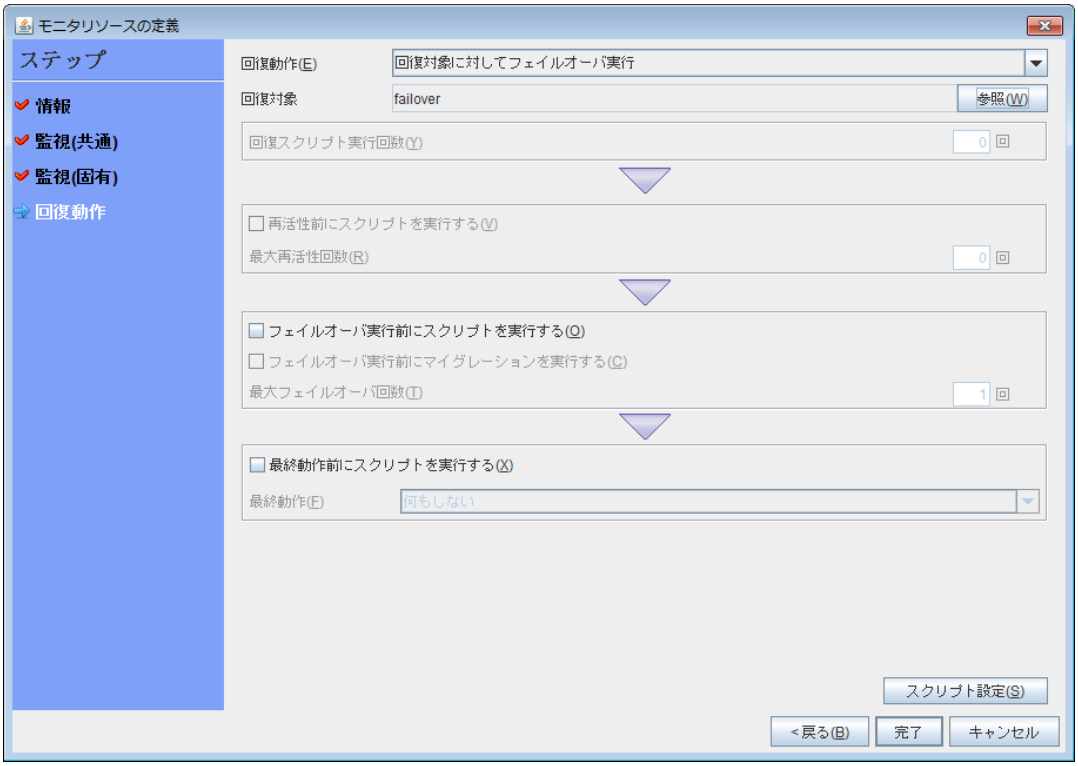
ポート番号:8080

Request URL:/eidm



回復対象に EIM のフェイルオーバグループを選択します。

Copyright ©2017 NEC Corporation



設定が終了したら、「完了」ボタンをクリックして、モニタリソースを作成します。

以上で EIM のクラスタ設定は終了です。

「Cluster Builder」の設定を「Cluster Manager」に適用させてください。設定適用後はフェイルオーバが正しく行われることを確認し、EIM 起動など正しく動作するか確認してください。

Copyright ©2017 NEC Corporation

4　スクリプトテンプレート

CLUSTERPRO に設定するEIM のスクリプトを以下に提示します。コネクタ、監査リポジトリ、レプリケーション、データベース・ログの退避・ローテーションスケジューリングを利用するか否かでスクリプトの内容が異なります。全て利用しない場合と、各々の機能を利用する場合のテンプレートを記載しています。複数の機能を利用する場合は、それぞれの機能で追記している内容（太字箇所）を記載してください。

4.1　共通

4.1.1　EDS 監視起動用スクリプト（EDS_WATCH_start.sh）

```
#! /bin/sh
#****************************************
#*                    start.sh                    *
#****************************************

if [ "$CLP_EVENT" = "START" ]
then
	if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
		then
		echo "NORMAL1"
		if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
		then
			echo "NORMAL2"
		else
			echo "ON_OTHER1"
		fi
		#**********EDS Setting(1) Start**********
		/opt/nec/eds/bin/EDS_WATCH start
		#**********EDS Setting(1) End**********
	else
		echo "ERROR_DISK from START"
	fi

elif [ "$CLP_EVENT" = "FAILOVER" ]
then
	if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
	then
		echo "FAILOVER1"
		if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
		then
			echo "FAILOVER2"
		else
			echo "ON_OTHER2"
		fi
		#**********EDS Setting(2) Start**********
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
            /opt/nec/eds/bin/EDS_WATCH start
            #**********EDS Setting(2) End**********
      else
            echo "ERROR_DISK from FAILOVER"
      fi

else
      echo "NO_CLP"
fi

echo "EXIT"
exit 0
```

4.1.2　EDS 監視停止用スクリプト（EDS_WATCH_stop.sh）

```
#! /bin/sh
#****************************************
#*                    stop.sh                    *
#****************************************

if [ "$CLP_EVENT" = "START" ]
then
      if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
      then
            echo "NORMAL1"
            if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
            then
                  echo "NORMAL2"
            else
                  echo "ON_OTHER1"
            fi
            #**********EDS Setting(1) Start**********
            /opt/nec/eds/bin/EDS_WATCH stop
            #**********EDS Setting(1) End**********
      else
            echo "ERROR_DISK from START"
      fi

elif [ "$CLP_EVENT" = "FAILOVER" ]
then
      if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
      then
            echo "FAILOVER1"
            if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
            then
                  echo "FAILOVER2"
            else
                  echo "ON_OTHER2"
            fi
            #**********EDS Setting(2) Start**********
            /opt/nec/eds/bin/EDS_WATCH stop
            #**********EDS Setting(2) End**********
      else
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
            echo "ERROR_DISK from FAILOVER"
        fi

else
        echo "NO_CLP"
fi

echo "EXIT"
exit 0
```

4.2 コネクタ、監査リポジトリ、レプリケーション、スケジューリングを利用しない場合

4.2.1 EIM 起動スクリプト（start.sh）

```
#! /bin/sh
#****************************************
#*                start.sh               *
#****************************************

if [ "$CLP_EVENT" = "START" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "NORMAL1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "NORMAL2"
                else
                        echo "ON_OTHER1"
                fi
                #**********EIM Setting(1) Start**********
                echo "start EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT start
                echo "start EDS Manager Finish"

                echo "start Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/startup.sh
                echo "start Tomcat Finish"
                #**********EIM Setting(1) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from START"
        fi
elif [ "$CLP_EVENT" = "FAILOVER" ]
then
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "FAILOVER1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "FAILOVER2"
                else
                        echo "ON_OTHER2"
                fi
                #**********EIM Setting(2) Start**********
                echo "start EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT start
                echo "start EDS Manager Finish"

                echo "start Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/startup.sh
                echo "start Tomcat Finish"
                #**********EIM Setting(2) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from FAILOVER"
        fi
else
        echo "NO_CLP"
fi
echo "EXIT"
exit 0
```

4.2.2　EIM 停止スクリプト（stop.sh）

```
#! /bin/sh
#****************************************
#*                stop.sh                *
#****************************************

if [ "$CLP_EVENT" = "START" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "NORMAL1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "NORMAL2"
                else
                        echo "ON_OTHER1"
                fi
                #**********EIM Setting(1) Start**********
                echo "stop Tomcat"
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
                /opt/nec/eidm/webap/bin/shutdown.sh
                echo "stop Tomcat Finish"

                echo "stop EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT stop
                echo "stop EDS Manager Finish"

                #**********EIM Setting(1) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from START"
        fi
elif [ "$CLP_EVENT" = "FAILOVER" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "FAILOVER1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "FAILOVER2"
                else
                        echo "ON_OTHER2"
                fi
                #**********EIM Setting(2) Start**********
                echo "stop Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/shutdown.sh
                echo "stop Tomcat Finish"

                echo "stop EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT stop
                echo "stop EDS Manager Finish"
                #**********EIM Setting(2) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from FAILOVER"
        fi
else
        echo "NO_CLP"
fi
echo "EXIT"
exit 0
```

4.2.3 監視スクリプト（EDS_WATCH）

```
#!/bin/sh
#****************************************
#*              EDS_WATCH               *
#****************************************
export LD_LIBRARY_PATH=/opt/nec/eds/lib:$LD_LIBRARY_PATH
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
statfile="/etc/opt/nec/eds/eds_watch.stat"
interval=10

case $1 in
'start' )
  prnum=0
  if [ -f "$statfile" ] ; then
        /bin/rm $statfile >/dev/null 2>&1
  fi
  echo $prnum > $statfile

  while :
  do
        if [ -f "$statfile" ] ; then
                prnum=`cat $statfile`
                prnum=${prnum:="0"}
        else
                prnum=0
        fi
        if [ $prnum == 0 ] ; then
                /opt/nec/eds/bin/edstatus -t 5
                E=$?
                if [ $E -ne 0 ] ; then
                        echo "EDS was ternminated("$E")"
                        exit $E
                fi
                /bin/sleep $interval
        elif [ $prnum == 1 ] ; then
                echo "EDS_WATCH is stopping"
                exit 0
        else
                /bin/sleep $interval
        fi
  done
  ;;
'stop' )
  prnum=1
  echo $prnum > $statfile
  ;;
'suspend' )
  prnum=2
  echo $prnum > $statfile
  ;;
'resume' )
  prnum=0
  echo $prnum > $statfile
  ;;
* )
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
  echo usage : $0 '[ start | stop | suspend | resume ]'
esac
exit 0
```

4.3 コネクタを利用する場合

コネクタを利用する場合、EIDMCONNECTORD サービスの起動/停止を行います。

4.3.1 EIM 起動スクリプト（start.sh）

```
#! /bin/sh
#****************************************
#*                start.sh              *
#****************************************

if [ "$CLP_EVENT" = "START" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "NORMAL1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "NORMAL2"
                else
                        echo "ON_OTHER1"
                fi
                #**********EIM Setting(1) Start**********
                echo "start EIDMCONNECTORD"
                /opt/nec/eidm/bin/EIDMCONNECTORD start
                echo " start EIDMCONNECTORD Finish"

                echo "start EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT start
                echo "start EDS Manager Finish"

                echo "start Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/startup.sh
                echo "start Tomcat Finish"
                #**********EIM Setting(1) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from START"
        fi
elif [ "$CLP_EVENT" = "FAILOVER" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "FAILOVER1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
                then
                        echo "FAILOVER2"
                else
                        echo "ON_OTHER2"
                fi
                #**********EIM Setting(2) Start**********
                echo "start EIDMCONNECTORD"
                /opt/nec/eidm/bin/EIDMCONNECTORD start
                echo " start EIDMCONNECTORD Finish"

                echo "start EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT start
                echo "start EDS Manager Finish"

                echo "start Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/startup.sh
                echo "start Tomcat Finish"
                #**********EIM Setting(2) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from FAILOVER"
        fi
else
        echo "NO_CLP"
fi
echo "EXIT"
exit 0
```

4.3.2　EIM 停止スクリプト（stop.sh）

```
#! /bin/sh
#****************************************
#*                stop.sh                *
#****************************************

if [ "$CLP_EVENT" = "START" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "NORMAL1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "NORMAL2"
                else
                        echo "ON_OTHER1"
                fi
                #**********EIM Setting(1) Start**********
                echo "stop Tomcat"
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
                /opt/nec/eidm/webap/bin/shutdown.sh
                echo "stop Tomcat Finish"

                echo "stop EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT stop
                echo "stop EDS Manager Finish"

                echo "stop EIDMCONNECTORD"
                /opt/nec/eidm/bin/EIDMCONNECTORD stop
                echo " stop EIDMCONNECTORD Finish"
                #**********EIM Setting(1) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from START"
        fi
elif [ "$CLP_EVENT" = "FAILOVER" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "FAILOVER1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "FAILOVER2"
                else
                        echo "ON_OTHER2"
                fi
                #**********EIM Setting(2) Start**********
                echo "stop Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/shutdown.sh
                echo "stop Tomcat Finish"

                echo "stop EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT stop
                echo "stop EDS Manager Finish"

                echo "stop EIDMCONNECTORD"
                /opt/nec/eidm/bin/EIDMCONNECTORD stop
                echo " stop EIDMCONNECTORD Finish"
                #**********EIM Setting(2) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from FAILOVER"
        fi
else
        echo "NO_CLP"
fi
echo "EXIT"
exit 0
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

4.3.3 監視スクリプト（EDS_WATCH）

```
#!/bin/sh
#****************************************
#*              EDS_WATCH               *
#****************************************
export LD_LIBRARY_PATH=/opt/nec/eds/lib:$LD_LIBRARY_PATH
statfile="/etc/opt/nec/eds/eds_watch.stat"
interval=10

case $1 in
'start' )
  prnum=0
  if [ -f "$statfile" ] ; then
        /bin/rm $statfile >/dev/null 2>&1
  fi
  echo $prnum > $statfile

  while :
  do
        if [ -f "$statfile" ] ; then
                prnum=`cat $statfile`
                prnum=${prnum:="0"}
        else
                prnum=0
        fi
        if [ $prnum == 0 ] ; then
                /opt/nec/eds/bin/edstatus -t 5
                E=$?
                if [ $E -ne 0 ] ; then
                        echo "EDS was ternminated("$E")"
                        exit $E
                fi
                /bin/sleep $interval
        elif [ $prnum == 1 ] ; then
                echo "EDS_WATCH is stopping"
                exit 0
        else
                /bin/sleep $interval
        fi
  done
  ;;
'stop' )
  prnum=1
  echo $prnum > $statfile
  ;;
'suspend' )
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
  prnum=2
  echo $prnum > $statfile
  ;;
'resume' )
  prnum=0
  echo $prnum > $statfile
  ;;
* )
  echo usage : $0 '[ start | stop | suspend | resume ]'
esac
exit 0
```

4.4 監査リポジトリを利用する場合

監査リポジトリを利用する場合、監査リポジトリ用 EDS サービスの起動/停止を行います。

4.4.1 EIM 起動スクリプト（start.sh）

```
#! /bin/sh
#****************************************
#*                start.sh              *
#****************************************

if [ "$CLP_EVENT" = "START" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "NORMAL1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "NORMAL2"
                else
                        echo "ON_OTHER1"
                fi
                #**********EIM Setting(1) Start**********
                echo "start EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT start
                echo "start EDS Manager Finish"

                echo "start EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT start AUDIT
                echo "start EDS Manager Finish"

                echo "start Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/startup.sh
                echo "start Tomcat Finish"
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
                #**********EIM Setting(1) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from START"
        fi
elif [ "$CLP_EVENT" = "FAILOVER" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "FAILOVER1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "FAILOVER2"
                else
                        echo "ON_OTHER2"
                fi
                #**********EIM Setting(2) Start**********
                echo "start EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT start
                echo "start EDS Manager Finish"

                echo "start EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT start AUDIT
                echo "start EDS Manager Finish"

                echo "start Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/startup.sh
                echo "start Tomcat Finish"
                #**********EIM Setting(2) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from FAILOVER"
        fi
else
        echo "NO_CLP"
fi
echo "EXIT"
exit 0
```

4.4.2 EIM 停止スクリプト（stop.sh）

```
#! /bin/sh
#****************************************
#*                stop.sh               *
#****************************************

if [ "$CLP_EVENT" = "START" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
        then
                echo "NORMAL1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "NORMAL2"
                else
                        echo "ON_OTHER1"
                fi
                #**********EIM Setting(1) Start**********
                echo "stop Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/shutdown.sh
                echo "stop Tomcat Finish"

                echo "stop EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT stop AUDIT
                echo "stop EDS Manager Finish"

                echo "stop EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT stop
                echo "stop EDS Manager Finish"

                #**********EIM Setting(1) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from START"
        fi
elif [ "$CLP_EVENT" = "FAILOVER" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "FAILOVER1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "FAILOVER2"
                else
                        echo "ON_OTHER2"
                fi
                #**********EIM Setting(2) Start**********
                echo "stop Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/shutdown.sh
                echo "stop Tomcat Finish"

                echo "stop EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT stop AUDIT
                echo "stop EDS Manager Finish"

                echo "stop EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT stop
                echo "stop EDS Manager Finish"
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
                #**********EIM Setting(2) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from FAILOVER"
        fi
else
        echo "NO_CLP"
fi
echo "EXIT"
exit 0
```

4.4.3 監視スクリプト（EDS_WATCH）

```
#!/bin/sh
#****************************************
#*              EDS_WATCH               *
#****************************************
export LD_LIBRARY_PATH=/opt/nec/eds/lib:$LD_LIBRARY_PATH
statfile="/etc/opt/nec/eds/eds_watch.stat"
interval=10

case $1 in
'start' )
  prnum=0
  if [ -f "$statfile" ] ; then
        /bin/rm $statfile >/dev/null 2>&1
  fi
  echo $prnum > $statfile

  while :
  do
        if [ -f "$statfile" ] ; then
                prnum=`cat $statfile`
                prnum=${prnum:="0"}
        else
                prnum=0
        fi
        if [ $prnum == 0 ] ; then
                /opt/nec/eds/bin/edstatus -t 5
                E=$?
                if [ $E -eq 0 ] ; then
                        /opt/nec/eds/bin/edstatus -t 5 -p 11107
                        E=$?
                fi
                if [ $E -ne 0 ] ; then
                        echo "EDS was ternminated("$E")"
                        exit $E
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
                fi
                /bin/sleep $interval
        elif [ $prnum == 1 ] ; then
                echo "EDS_WATCH is stopping"
                exit 0
        else
                /bin/sleep $interval
        fi
  done
  ;;
'stop' )
  prnum=1
  echo $prnum > $statfile
  ;;
'suspend' )
  prnum=2
  echo $prnum > $statfile
  ;;
'resume' )
  prnum=0
  echo $prnum > $statfile
  ;;
* )
  echo usage : $0 '[ start | stop | suspend | resume ]'
esac
exit 0
```

※監査リポジトリのインストール時に manager server port を変更した場合は、edstatus の p オプションの値を変更した値に設定する必要があります。

例）

manager server port を 12345 に変更した場合

```
/opt/nec/eds/bin/edstatus -t 5 -p 12345
```

4.5 レプリケーションを利用する場合

レプリケーションを行う場合、レプリケーションサービスの起動/停止を行います。

4.5.1 EIM 起動スクリプト（start.sh）

```
#! /bin/sh
#****************************************
#*                start.sh              *
#****************************************
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
if [ "$CLP_EVENT" = "START" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "NORMAL1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "NORMAL2"
                else
                        echo "ON_OTHER1"
                fi
                #**********EIM Setting(1) Start**********
                echo "start EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT start
                echo "start EDS Manager Finish"

                echo "start EDS Replication"
                /opt/nec/eds/bin/EDREPD start
                echo "start EDS Replication Finish"

                echo "start Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/startup.sh
                echo "start Tomcat Finish"
                #**********EIM Setting(1) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from START"
        fi
elif [ "$CLP_EVENT" = "FAILOVER" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "FAILOVER1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "FAILOVER2"
                else
                        echo "ON_OTHER2"
                fi
                #**********EIM Setting(2) Start**********
                echo "start EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT start
                echo "start EDS Manager Finish"

                echo "start EDS Replication"
                /opt/nec/eds/bin/EDREPD start
                echo "start EDS Replication Finish"

                echo "start Tomcat"
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
                /opt/nec/eidm/webap/bin/startup.sh
                echo "start Tomcat Finish"
                #**********EIM Setting(2) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from FAILOVER"
        fi
else
        echo "NO_CLP"
fi
echo "EXIT"
exit 0
```

4.5.2　EIM 停止スクリプト（stop.sh）

```
#! /bin/sh
#****************************************
#*                stop.sh                *
#****************************************

if [ "$CLP_EVENT" = "START" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "NORMAL1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "NORMAL2"
                else
                        echo "ON_OTHER1"
                fi
                #**********EIM Setting(1) Start**********
                echo "stop Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/shutdown.sh
                echo "stop Tomcat Finish"

                echo "stop EDS Replication"
                /opt/nec/eds/bin/EDREPD stop
                echo "stop EDS Replication Finish"

                echo "stop EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT stop
                echo "stop EDS Manager Finish"

                #**********EIM Setting(1) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from START"
        fi
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
elif [ "$CLP_EVENT" = "FAILOVER" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "FAILOVER1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "FAILOVER2"
                else
                        echo "ON_OTHER2"
                fi
                #**********EIM Setting(2) Start**********
                echo "stop Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/shutdown.sh
                echo "stop Tomcat Finish"

                echo "stop EDS Replication"
                /opt/nec/eds/bin/EDREPD stop
                echo "stop EDS Replication Finish"

                echo "stop EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT stop
                echo "stop EDS Manager Finish"

                #**********EIM Setting(2) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from FAILOVER"
        fi
else
        echo "NO_CLP"
fi
echo "EXIT"
exit 0
```

4.5.3 監視スクリプト（EDS_WATCH）

```
#!/bin/sh
#****************************************
#*              EDS_WATCH               *
#****************************************
export LD_LIBRARY_PATH=/opt/nec/eds/lib:$LD_LIBRARY_PATH
statfile="/etc/opt/nec/eds/eds_watch.stat"
interval=10

case $1 in
'start' )
  prnum=0
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
  if [ -f "$statfile" ] ; then
        /bin/rm $statfile >/dev/null 2>&1
  fi
  echo $prnum > $statfile

  while :
  do
        if [ -f "$statfile" ] ; then
                prnum=`cat $statfile`
                prnum=${prnum:="0"}
        else
                prnum=0
        fi
        if [ $prnum == 0 ] ; then
                /opt/nec/eds/bin/edstatus -t 5 -r
                E=$?
                if [ $E -ne 0 ] ; then
                        echo "EDS was ternminated("$E")"
                        exit $E
                fi
                /bin/sleep $interval
        elif [ $prnum == 1 ] ; then
                echo "EDS_WATCH is stopping"
                exit 0
        else
                /bin/sleep $interval
        fi
  done
  ;;
'stop' )
  prnum=1
  echo $prnum > $statfile
  ;;
'suspend' )
  prnum=2
  echo $prnum > $statfile
  ;;
'resume' )
  prnum=0
  echo $prnum > $statfile
  ;;
* )
  echo usage : $0 '[ start | stop | suspend | resume ]'
esac
exit 0
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

4.6 スケジューリングを利用する場合（監査リポジトリ含む）

データベース、ログのスケジューリングを行う場合、edaddat/eddelat コマンドを使い、cron の情報を引継ぎます。本サンプルでは、複数のログのスケジューリングが存在する場合に、切り替え後にすべてのスケジュールを予約 ON の状態で引き継ぎます。

4.6.1 EIM 起動スクリプト（start.sh）

```
#! /bin/sh
#****************************************
#*                start.sh              *
#****************************************

if [ "$CLP_EVENT" = "START" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "NORMAL1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "NORMAL2"
                else
                        echo "ON_OTHER1"
                fi
                #**********EIM Setting(1) Start**********
                echo "start EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT start
                echo "start EDS Manager Finish"

                echo "start EDS Schedule"
                PATH=/opt/nec/eds/bin:$PATH
                LD_LIBRARY_PATH=/opt/nec/eds/lib:$LD_LIBRARY_PATH
                PERCIOROOT=/opt/nec/eds
                PERCIOENVPATH=/opt/nec/eds/env
                export PATH LD_LIBRARY_PATH PERCIOROOT PERCIOENVPATH

                /opt/nec/eds/bin/edaddat EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t access   EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t audit    EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t change   EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t connect  EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t error    EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t trace    EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat AUDITDB >/dev/null 2>&1
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t access   AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t audit    AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t change   AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t connect  AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t error    AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t trace    AUDITDB >/dev/null 2>&1
                echo "start EDS Schedule Finish"

                echo "start Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/startup.sh
                echo "start Tomcat Finish"
                #**********EIM Setting(1) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from START"
        fi
elif [ "$CLP_EVENT" = "FAILOVER" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "FAILOVER1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "FAILOVER2"
                else
                        echo "ON_OTHER2"
                fi
                #**********EIM Setting(2) Start**********
                echo "start EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT start
                echo "start EDS Manager Finish"

                echo "start EDS Schedule"
                PATH=/opt/nec/eds/bin:$PATH
                LD_LIBRARY_PATH=/opt/nec/eds/lib:$LD_LIBRARY_PATH
                PERCIOROOT=/opt/nec/eds
                PERCIOENVPATH=/opt/nec/eds/env
                export PATH LD_LIBRARY_PATH PERCIOROOT PERCIOENVPATH

                /opt/nec/eds/bin/edaddat EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t access   EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t audit    EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t change   EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t connect  EDSDB >/dev/null 2>&1
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t error    EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t trace    EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t access   AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t audit    AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t change   AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t connect  AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t error    AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/edaddat -t trace    AUDITDB >/dev/null 2>&1
                echo "start EDS Schedule Finish"

                echo "start Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/startup.sh
                echo "start Tomcat Finish"
                #**********EIM Setting(2) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from FAILOVER"
        fi
else
        echo "NO_CLP"
fi
echo "EXIT"
exit 0
```

4.6.2　EIM 停止スクリプト（stop.sh）

```
#! /bin/sh
#****************************************
#*                stop.sh                *
#****************************************

if [ "$CLP_EVENT" = "START" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "NORMAL1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "NORMAL2"
                else
                        echo "ON_OTHER1"
                fi
                #**********EIM Setting(1) Start**********
                echo "stop Tomcat"
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
                /opt/nec/eidm/webap/bin/shutdown.sh
                echo "stop Tomcat Finish"

                echo "stop EDS Schedule"
                PATH=/opt/nec/eds/bin:$PATH
                LD_LIBRARY_PATH=/opt/nec/eds/lib:$LD_LIBRARY_PATH
                PERCIOROOT=/opt/nec/eds
                PERCIOENVPATH=/opt/nec/eds/env
                export PATH LD_LIBRARY_PATH PERCIOROOT PERCIOENVPATH
                /opt/nec/eds/bin/eddelat AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t access   AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t audit    AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t change   AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t connect  AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t error    AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t trace    AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t access   EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t audit    EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t change   EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t connect  EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t error    EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t trace    EDSDB >/dev/null 2>&1
                echo "stop EDS Schedule Finish"

                echo "stop EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT stop
                echo "stop EDS Manager Finish"

                #**********EIM Setting(1) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from START"
        fi
elif [ "$CLP_EVENT" = "FAILOVER" ]
then
        if [ "$CLP_DISK" = "SUCCESS" ]
        then
                echo "FAILOVER1"
                if [ "$CLP_SERVER" = "HOME" ]
                then
                        echo "FAILOVER2"
                else
                        echo "ON_OTHER2"
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
                fi
                #**********EIM Setting(2) Start**********
                echo "stop Tomcat"
                /opt/nec/eidm/webap/bin/shutdown.sh
                echo "stop Tomcat Finish"

                echo "stop EDS Schedule"
                PATH=/opt/nec/eds/bin:$PATH
                LD_LIBRARY_PATH=/opt/nec/eds/lib:$LD_LIBRARY_PATH
                PERCIOROOT=/opt/nec/eds
                PERCIOENVPATH=/opt/nec/eds/env
                export PATH LD_LIBRARY_PATH PERCIOROOT PERCIOENVPATH
                /opt/nec/eds/bin/eddelat AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t access   AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t audit    AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t change   AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t connect  AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t error    AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t trace    AUDITDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t access   EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t audit    EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t change   EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t connect  EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t error    EDSDB >/dev/null 2>&1
                /opt/nec/eds/bin/eddelat -t trace    EDSDB >/dev/null 2>&1
                echo "stop EDS Schedule Finish"

                echo "stop EDS Manager"
                /opt/nec/eds/bin/EDAGENT stop
                echo "stop EDS Manager Finish"
                #**********EIM Setting(2) End**********
        else
                echo "ERROR_DISK from FAILOVER"
        fi
else
        echo "NO_CLP"
fi
echo "EXIT"
exit 0
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

4.6.3　監視スクリプト（EDS_WATCH）

```
#!/bin/sh
#****************************************
#*              EDS_WATCH               *
#****************************************
export LD_LIBRARY_PATH=/opt/nec/eds/lib:$LD_LIBRARY_PATH
statfile="/etc/opt/nec/eds/eds_watch.stat"
interval=10

case $1 in
'start' )
  prnum=0
  if [ -f "$statfile" ] ; then
        /bin/rm $statfile >/dev/null 2>&1
  fi
  echo $prnum > $statfile

  while :
  do
        if [ -f "$statfile" ] ; then
                prnum=`cat $statfile`
                prnum=${prnum:="0"}
        else
                prnum=0
        fi
        if [ $prnum == 0 ] ; then
                /opt/nec/eds/bin/edstatus -t 5
                E=$?
                if [ $E -ne 0 ] ; then
                        echo "EDS was ternminated("$E")"
                        exit $E
                fi
                /bin/sleep $interval
        elif [ $prnum == 1 ] ; then
                echo "EDS_WATCH is stopping"
                exit 0
        else
                /bin/sleep $interval
        fi
  done
  ;;
'stop' )
  prnum=1
  echo $prnum > $statfile
  ;;
'suspend' )
  prnum=2
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

```
  echo $prnum > $statfile
  ;;
'resume' )
  prnum=0
  echo $prnum > $statfile
  ;;
* )
  echo usage : $0 '[ start | stop | suspend | resume ]'
esac
exit 0
```


Copyright ©2017 NEC Corporation

5　留意事項

1.　EDS を停止する場合

EDS の環境設定の変更やデータベースの初期化等、EDS サーバの再起動、または停止が必要になる場合があります。この場合、一度 EDS の監視コマンドをサスペンドしてから EDS サーバを再起動、または停止を実行してください。

2.　Tomcat を停止する場合

ワークフロー設定の変更などの際に Tomcat の再起動、または停止が必要になる場合があります。この場合、一度 HTTP デーモンの監視を中断してから Tomcat を再起動、または停止を実行してください。

3.　コネクタ設定を反映する場合

コネクタの設定を変更する場合 EIDMCONNECTORD、EIM リポジトリ（EDS）の再起動が必要になります。この場合、一時的にモニタリソースの監視を中断してからサービスを再起動してください。

4.　退避スケジュールの利用

EDS の退避スケジュールを利用してデータベースのバックアップ、ログのローテーションを実行する際の注意点は以下となります。

①. EIM 起動スクリプトで edaddat に指定しているログについては、フェイルオーバ発生前にスケジュール予約が OFF だったものについても、フェイルオーバ発生後はスケジュール予約が ON として再登録されます。（予約 ON のスケジュールが cron に登録されます）

②. 現用系と待機系で、退避フォルダは同一のフォルダ名にしてください。

5.　EIDMCONNECTORD 用モニタリソースについて

EIDMCONNECTORD プロセスは、コネクタが設定されていない状態で起動した場合、自動で停止するようになっています。そのため、初期構築時など、コネクタが設定されていない状態で EIDMCONNECTORD 用モニタを先に設定した場合、当該モニタリソースにエラーとして検知されてしまいます。EIDMCONNECTORD 用モニタリソースはコネクタ設定が完了してから追加するようにしてください。

Copyright ©2017 NEC Corporation